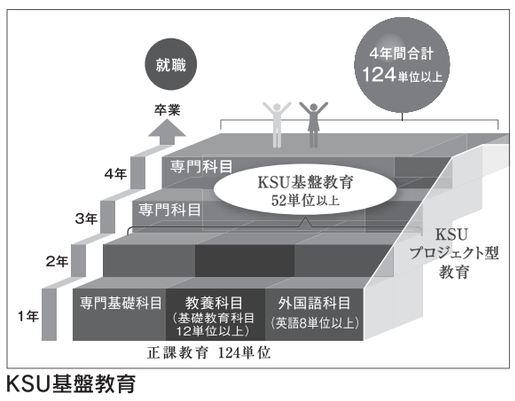
九州産業大学

「心身共に健全な国際的教養人」を育成

教育改革が順調に進展し、大きく進化している九州産業大学。「産業と大学は車の両輪のように一体となって、時々の社会のニーズを満たすべきである」という建学の理想「産学一如」が、さまざまな形で現実となっている。そして今また「必ず、カタチにしてみせる。」をスローガンに、社会の新しいニーズに応える地域密着型大学を目指す。

社会で求められる基礎力を養う「KSU基盤教育」

社会を生きる基礎となる「教養」を身に付けることを目的に、九州産業大学(以下、九産大)では2014年度から「KSU基盤教育」をスタートさせた。全ての学生が1年次から2年間、全学共通で基礎科目、外国語科目、専門基礎科目の三つを学ぶ教育プログラムである。今年で3年目を迎え、手応えを感じていると山本盤男学長は語る。



KSU基盤教育

「国語や数学、歴史、憲法などのコア科目をしっかり学ぶことで、学生たちは高校から大学へのスムーズな移行ができているようです。また多彩な学部を有する本学には、目的も意欲も多様な学生が入学してきますから、彼らが学部の枠を超えて共に学ぶことで互いに良い刺激となっているようです」

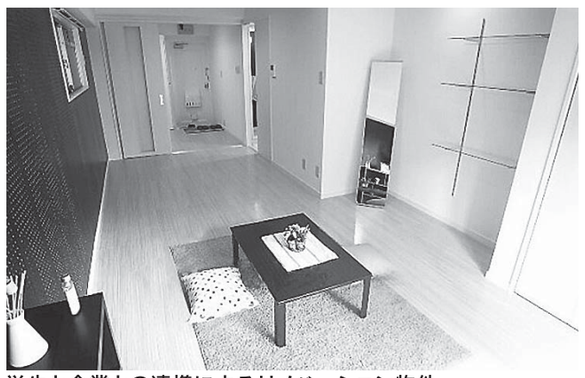
さらに、入学から卒業に至るまで、入門→基礎→応用というように体系的に学修できるのも、「KSU基盤教育」の大きな特徴といえよう。

昨年度からは、語学力の基礎となる国語力の養成にも傾注。外国語科目と同様に専門的なプログラムを設け、学力向上に成果をあげている。さらに今後は、インターネットなどのICT(情報通信技術)メディアを活用するためのリテラシー教育にも領域を広げていく計画だ。

地域や企業の問題解決にプロジェクトで挑む

社会情勢や産業構造がめまぐるしい勢いで変化する現代、企業や地域社会は、変化の波に柔軟に対応できる力を求めている。そんな人材を養うのが「KSUプロジェクト型教育」である。学びの舞台は、地元企業や自治体など実社会の「現場」。学生たちは他の学部の仲間や社会で活躍するプロフェッショナルと連携してプロジェクトを立ち上げ、そこにある問題と向き合い、解決の答えを導き出していく。

2015年度現在、進行しているプロジェクトは138事例にのぼる。もはやプロジェクト型教育は、一部の学生のものでなく、日常の学びとしてすっかり定着した感がある。


学生と企業との連携によるリノベーション物件

工学部や芸術学部が不動産会社と連携してマンションのリノベーションにチャレンジしているプロジェクトでは、学生ならではのアイデアが好評を得ている。また、商学部が主体となってまちづくりプロジェクトを進めてきた柳川市とは、昨年6月、正式に連携協定を締結。地域社会からの信頼の大きさを実感する出来事となった。

「学生たちが社会の現場で厳しいビジネスを経験し、自分に足りなかった部分をまた大学に戻って学び直す。このサイクルができることで、本学の『産学一如』の理想が実現できると考えています」(山本学長)。

「結果として就職が決まる学生生活」を1年次から

ビジネスの現場で鍛えられた学生たちが、本格的に社会へ羽ばたく就職。九産大では「結果として就職が決まる学生生活」の構築をテーマに、1年生のほぼ全員がキャリア教育を受けるシステムを実践している。さらに、3年生の後期にも就職活動に向けた具体的な対策を行い、キャリア形成の詰めを行う。

その拠点となるのが、丸ごと1棟キャリア教育だけの施設という充実したキャリア支援センターだ。常駐する専任のスタッフが学部教員との連携を密にしながら、学生と企業とのベストマッチを図る。こうした取り組みは、95・4%(就職決定者1650人/就職希望者1729人、2016年5月1日現在)という同大学としては過去最高の就職率(対就職希望者比)に結びついている。とりわけ芸術学部の就職率は、全国の芸術系学部の中でもトップクラス。学部独自でのキャリア教育も広まり、第一線で活躍するOBの講演会や意見交換会も盛んに行われている。

女子学生の就職率も確実にアップしている。女子学生の会「KSUGL」による学外連携プロジェクトや、プロのアーティストやモデルによる「メイク講座」「ブラッシュアップ講座」など女性目線でのサポートが、数字に現れているといえよう。

もちろん就職はゴールではない。社会に出てからいかに活躍できるか。その伸びしろを授けてくれるのが、九州産業大学という学舎である。

プロのモデル講師がウォーキングや立居振る舞いを実演指導する

環境、エネルギー、食料、医療、災害対策など、数多くの社会問題が次々と発生する現代社会。特に九産大の理工系学部である工学部と情報科学部を取り巻く環境は、日進月歩の技術開発とともに、社会のニーズも多様化している。こうした産業界・科学技術界の変化に対応すべく、現行の2学部8学科を2017年度から3学部7学科に再編。地域産業の活性化、地域文化の維持発展に自律的に貢献できる人材の育成を目指す。

再編成のポイントは大きく二つ。新たにチャレンジする学術領域の新設と、わかりやすい学部・学科構成だ。「理工学部」では、情報メカトロニクスの主要分野で注目度が高い人工知能、ロボット、次世代自動車などの先端技術を学ぶ。「生命科学部」では、食品・化粧品・医薬品・医療機器・新素材系の製造企業において、専門職として貢献できる人材を育成する。「建築都市工学部」は、建築・住宅・インテリア、都市・土木を総合的に学べる学部としては西日本初となる。

幅広い学部、学科を持ち地域とのつながりも深い九産大だけに、いずれの学部も産学連携や学部間交流による実践的な研究が可能だ。また、新たな学部・学科の開設により、理工系学部以外の学生にとっても学びの地平が広がることだろう。

CLOSE UP

2017年度から新生・理工系学部がスタート

(届出書類提出中)

■理工学部
「情報」が繋ぐ「機械」と「電気」
◎機械工学科/電気工学科/情報科学科

■生命科学部
「新素材」「診断薬」「医薬品」「医療機器」「化粧品」「食品」を科学する
◎生命科学科
(応用化学コース/生命科学コース/食品科学コース)

■建築都市工学部
「住環境・インテリア」から「国土」までの空間デザイン
◎建築学科/住居インテリア学科/都市デザイン工学科

卒業生から 実験やコンテストなど実践的な学びが仕事の糧に

企業向けの共済団体の社内システムを開発しています。お客様へシステム内容の改善をご提案する営業開発のような立ち位置で、お客様の声を直に伺い、自分なりの提案ができることにやりがいを感じています。九産大の授業では、ソフトウェアとハードウェアのどちらも深く学べたので、今の仕事に非常に役立っています。

大学時代、特に感動した講義が、2年次に始まる実験でした。自動販売機を動かすシステムの設計・構築から運用までを一人で行ったのですが、最終的に自動販売機から缶が出てくるのを見たときはうれしかったですね。

情報システム研究会というサークルでは、携帯電話内のアプリケーションを制作するコンテストにも出場。仲間とチームを組み納期までに完成させることができたのは、とても良い経験でした。在学中は、講義だけでなくサークル活動などにも積極的に参加すると、就職後にその経験が生かされてくると思います。

㈱NTTデータ 第一金融事業本部 主任
坂本 眸さん
2008年 情報科学部 知能情報学科卒

在学生から プロジェクトへの参加で自分の夢が描けました

KSUプロジェクト型教育を通じて、福岡のさまざまな企業の方と接する機会が多いのが九産大の最大の魅力です。ゼミのプロジェクトでは地元のお店の醤油や鯛めしのラベル・パッケージデザインをチームで制作しました。入学時は将来何をしたいのか定まっていなかったのですが、プロジェクトへの参加をきっかけに、デザイン関連の企業に就職したいという夢を持つことができました。

1年次から、自分のアイデアをたくさんの人にプレゼンする機会が頻繁にあるのも九産大の特色です。人前で話すことが苦手だった私ですが、自分の考えを伝える力が自然に身につきました。今では企業の方々の前でも、緊張せずにプレゼンすることができ自分の成長を実感しています。周りから学ぶことが多い大学なので、「将来の夢が決まっていない」「興味はあるけど自信がない」という人でも、思いきって飛び込んでみることをおすすめします。

芸術学部 デザイン学科 4年
坂井 美優さん

《基本情報》

九州産業大学(私) 〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1
☎092-673-5050(代表) http://www.kyusan-u.ac.jp/

【創 立】1960年
【学 部】国際文化学部、経済学部、商学部第一部、商学部第二部、経営学部、理工学部※、生命科学部※、建築都市工学部※、芸術学部 ※…届出書類提出中
【高校からの評価 進路支援が充実】九州・山口・沖縄2位
【初年度納付金(私大)安い】
工・理工学部 九州3位
経済・経営・商学部 九州4位
【教育環境 学生数】九州・山口・沖縄3位
【社長の出身大学 全企業】九州・山口・沖縄2位
(いずれも『大学ランキング2017版』より)

〈オープンキャンパス2016〉

[開催場所] 本学キャンパス

第1回	第2回	第3回
7/24 SUN	9/25 SUN	10/23 SUN
09:30▶15:00	10:00▶15:00	09:30▶15:00
9:00から随時受付	9:30から随時受付	9:00から随時受付

[開催内容]
●模擬講義 ●各種体験実習 ●各種相談 ●一般入試問題解説
●芸術学部実技入試作品解説 ●保護者対象講演会[①10:00▶10:50 ②13:00▶13:50]など

WEEKDAY CAMPUS VISIT

1日九産大生になってみよう!

高校生が普段の大学生と一緒の授業を受け「1日大学生」を体験するWCV(ウィークデー・キャンパス・ヴィジット)は、九州で初めて九産大が導入した進路発見型プログラムです。学部・学科のミスマッチ防止や、進路・志望校選びの機会としてぜひ活用してください。

開催日 ※お申込みはHPから

9/19 MON 9/22 THU 10/10 MON 11/3 THU

大学を知る8つのステップ [WEEKDAY CAMPUS VISITの流れ]

1 応募する
WEEKDAY CAMPUS VISITにmailもしくはFAXで申し込みましょう!友達と一緒に参加して授業を受けてみるのも面白いかも?

2 大学にいく 9:15 時間厳守!
当日は私服で大学に来ましょう。ガイダンスは遅刻厳禁!時間に余裕をもって行動しましょう。ノートと筆記用具も忘れないように注意しましょう。

3 ガイダンス
大学に対するイメージを共有したあと、授業内容を説明します。その後、授業を2つ選ぶことができます。実際の大学と学部について確認しましょう。

4 授業を受ける 10:40 教室へGO
先輩たちと一緒に授業を受けて、学部・学科、授業内容など具体的なイメージをつかみましょう。

5 ごはんを食べる 12:10 いただきます
WEEKDAY CAMPUS VISITでは学生食堂で食事をすることができます。一緒に授業を受けた先輩たちや同じ学科を目指す人と仲良くなれるかも?

6 授業を受ける 13:00 遅刻厳禁
今度は違う授業を受けてみましょう。学科ごとの授業内容の違いなど新しい発見ができるはず!

7 振り返りワーク 14:40 共有タイム
1日を振り返って、授業について、大学について思ったことや気づきをみんなで共有しましょう。

8 進路決定!? 15:50 終了予定
WEEKDAY CAMPUS VISITには何回でも参加できます。色々な学部・学科を見てやりたいことを決めましょう。

必ず、カタチにしてみせる。

お問い合わせ
オープンキャンパス(入試課) TEL.092-673-5550
ウィークデー・キャンパス・ヴィジット(教務課) TEL.092-673-5072

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1
[交通案内] JR鹿児島本線「九産大前駅」下車、徒歩1分。西鉄バス 都市高速経由「九州産業大学南口」下車、徒歩1分。

KSU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY 九州産業大学